

平成30年11月4日(日) 18:00~  
京セラドーム大阪

第44回社会人野球日本選手権大会

VS

日本生命

先制したい打線は初回、1番・吉田がヒットで出塁するも盗塁失敗に終わる。しかし2死から3番・佐藤がヒットで出塁しチャンスメイクするも4番・大野は大きな外野フライに打ち取られて無得点に終わる。

2回以降無安打に抑えられていた打線は5回、先頭の6番・井村が四球で出塁すると7番・小川が送りバントでチャンスを拡大、その後2死3塁から9番・新城がライト線へタイムリー2塁打を打ち同点に追いつく!

勝ち越したい打線は8回、先頭の代打・竹内がヒットで出塁、9番・新城が送りバントを決めてチャンスを作るが、2死2塁で宮川の打席に竹内が飛び出して走塁死、チャンスを活かすことができない。

【試合経過】

チーム名	イニング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
明治安田生命	安打	2	0	0	0	1	0	0	1	0	4
	得点	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
日本生命	安打	0	1	0	0	0	0	0	0	3x	4
	安打	1	2	2	0	3	1	0	0	2	11

先発の大久保は初回、ヒットの走者を許しながらも無失点で立ち上がる。しかし2回、2死2塁のピンチで相手7番打者に先制のタイムリーヒットを浴びる。

大久保は3回に1死1、2塁のピンチを迎えるが相手クリーンナップを封じ込めて追加点を許さない。さらに同点に追いついた直後の5回、1死満塁の大ピンチを招くがここの後続を抑えて勝ち越しを許さない。

先発の大久保はヒットを多く打たれながらも要所を締めて1失点の投球を続けていたが、9回、ヒット・送りバント・四球で2死1、2塁のピンチを作ると163球目にレフトスタンドへのサヨナラホームランを浴びて試合終了。1-4で惜しくも敗れた。

各選手成績は下段の表をご確認ください。

【打撃成績】

打順	守備	選手名	所属	打席	打数	安打					打点	盗塁	犠打	四死	打率
						計	単	二塁	三塁	本塁					
1	6	吉田	総合法人第五部	4	3	1	1							1	0.333
2	8	宮川	上野支社	4	4	0									0.000
3	7	佐藤	所沢支社	4	4	1	1								0.250
4	3	大野	池袋支社	4	4	0									0.000
5	2	道端	丸の内支社	3	3	0									0.000
6	9	井村	新宿支社	3	2	0							1		0.000
7	DH	小川	町田支社	3	2	0						1			0.000
8	5	大東	浦和支社	2	2	0									0.000
	H	竹内	町田支社	1	1	1	1								1.000
	5	木田	所沢支社	0	0	0									#DIV/0!
9	4	新城	新宿支社	3	2	1	1			1		1			0.500
計				31	27	4	3	1	0	0	1	0	2	2	0.148

【投手成績】

登板	選手名	所属	勝敗	回数	打者	球数	安打	三振	四死	失点	自責	防御率
先発	大久保	立川支社	×	8 2/3	38	163	11	7	1	4	4	4.15
計				8 2/3	38	•	11	7	1	4	4	4.15